

2026年6月

お客さま 各位

但馬信用金庫

2026年3月期決算について

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、誠に遺憾ではございますが、当金庫の2026年3月期決算におきまして、195億円の損失(赤字)を計上いたしましたことをご報告申し上げます。

近年、物価の上昇などにより市場金利が上昇しており、今後も政策金利のさらなる上昇が見込まれます。このような中、当金庫では保有する有価証券(債券)の将来的な評価損が拡大するリスクを抑えるため、この数年来、段階的な債券の売却を進めながら収益の確保に努めてまいりました。

しかし、本年1月中旬に国内金利が急激に上昇したことを受け、当金庫は財務の健全性を維持しながら、評価損が拡大していた国債や地方債などを売却し、保有する債券の組み合わせを見直す判断を行いました。この売却処理に伴い、一時的な損失が発生したものでございます。

今回の対応は、将来にわたって財務の健全性をより一層高めることを目的とした経営判断であり、長期的な経営基盤の安定化を図るためのものでございます。

損失計上後におきましても、金融機関の安全性・健全性を示す自己資本比率は11.5%となっており、国内基準(4%)および国際基準(8%)をいずれも大きく上回る水準を維持しております。また、本業収益につきましては安定的に確保できており、今後も増加させていく予定です。

お客さまからお預かりしております預金やその他のお取引につきましては、これまでどおり安心してご利用いただける体制を確保しておりますので、どうぞご安心ください。

当金庫はこれからも地域金融機関として、地域の皆さまが抱える課題の発見と解決に全力を尽くし、皆さまの生活や事業を支える金融サービスの提供および経営体質の強化に取り組んでまいります。

今回の件につきまして、皆さまに大変なご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。しかしながら、これまで積み上げてきた十分な自己資本により、当金庫の安全性・健全性が損なわれることはございません。

引き続き、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上